

時代を読み解く

シリーズ 12

指導者役を模擬して行動を決定

「模擬する」とは「模擬する」とである。自衛隊の装備に関心のある向きは、航空機の操縦訓練などに使われる「シミュレーター」を思い浮かべる。

もしない。シミュレーターは地形・気象や敵対状況など、さまざまな条件を仮想的に加えた環境を再現し、その中で訓練者が行動（操縦などを模擬）すること、装備の挙動や危機的状況への対処などを体得する。この訓練は、ICOT（情報通信技術）の発達により単機レベルから複数での連携、より大きな部隊規模の演習が可能なレベルに発展しており、さらに一國だけでなく共通のプラットフォームを介して同盟国間で同時に訓練を行うことも現実的になっている。

政策シミュレーション

アイデア導き出す手法
防研の一般課程で演習

今月の講師

松浦 吉秀氏

防衛研究所 特別研究官
(政策シミュレーション担当)

1969（昭和44）年生まれ、北海道出身。東京外国語大学外国語学部卒（93年）、ナンヤン工科大学（シンガポール）国防戦略研究所修士課程修了（2002年）。95年、防衛研究所入所。内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）付参事官補佐、防研北東アジア研究室長、政治・法制研究室長などを経て、2022年4月から現職。専門は東南アジアの安全保障、マレーシア・シンガポールの近現代史など。防研『東アジア戦略概観』2018～2022各号の東南アジア章を執筆。

座学よりも体感的であり、実装では危険すぎる訓練できないような状況（誤れば生命の危険がある）も模擬できるといった利点がある。

こうしたシミュレーターでの訓練は、ICOT（情報通信技術）の発達により単機レベルから複数での連携、より大きな部隊規模の演習が可能なレベルに発展しており、さらに一國だけでなく共通のプラットフォームを介して同盟国間で同時に訓練を行うことも現実的になっている。

では、政策シミュレーションとは何か。「政策シミュレーション」に確立された定義はないが、防衛研究所では、「仮想的なシナリオを設定し、そうした状況に置かれた時に、自国がどのように対応

すべきか、関係国はどのように対応してくるかを議論することで、具体的な政策課題に取り組み際のアイデアを導き出す手法」と位置づけている。

前述のシミュレーターとの対比でいえば、前者では仮想空間の中でプレイヤーは操縦者や部隊指揮官など、本来の自分の役割を演じ、一定の時間経過を想定して新たな状況が付与される。①プレイヤーは架空の（例えば）四つの国に分けられる。統制側からそれらの国を取り巻く開始時点の戦略環境が説明され、各国は自国の戦略目標を立てる。②統制側から何らかの事象が状況付与され、それに

対し各国は国内で議論し、この形式はマトリクスゲームと呼ばれる（他にも色々の形式がある）。実施には特別な装置を必要としない。中心の価値はプレイヤーが考え、共有されるアイデアと議論である。

防研は国家安全保障における将来のリーダーを育成する教育を行っており、この演習では、研修員はプレイヤーとして、自国と他国は3種類のシナリオそれぞれ、現行の法制枠組みや能力を前提として事態の推移に応じて行動したとき、事後、その結果から多くの政策課題を抽出し提言としてまとめている（※）。この例のようなシミュレーションでは、現実の政策課題や危機的シナリオに対して、現職の意思決定者・政策立案者や、その経験を持つ有識者が参加してシミュレーションを行うことで、現行の制度・施策が想定する範囲内で、各プレイヤーの行動が相互に影響した結果生じた一つの可能性に過ぎないことに留意すべきである。

例えば現実世界では、一es/file/2022-10-27/166846145717.pdf 度にはDIMEの1分野の政

テーマをさらに深掘り

「防研セミナーフリーフィング」

執筆者の松浦特別研究官が参加者とミニゲームを行いながら今回のテーマをさらに深掘りする「防研セミナーフリーフィング」が1月20日（金）午後4時～5時まで、市ヶ谷のF1棟6階「国際会議場」で開かれます。参加者・聴講者は隊員に限定します。ご興味ある方は奮ってご参加ください。▽問い合わせ＝防研企画調整課03-3268-3111（内線29177）まで。

よりよい意思決定政策支援での役割
もう一つの例を紹介す

シミュレーションは、現実の政策課題や危機的シナリオに対して、現職の意思決定者・政策立案者や、その経験を持つ有識者が参加してシミュレーションを行うことで、現行の制度・施策が想定する範囲内で、各プレイヤーの行動が相互に影響した結果生じた一つの可能性に過ぎないことに留意すべきである。

例えば現実世界では、一es/file/2022-10-27/166846145717.pdf 度にはDIMEの1分野の政